

# 事業概要

(平成14年度のまとめ)

京都府立図書館

# 目 次

I	年次概要	1
1	平成14年度の主な動き	1
2	資料・利用	1
3	事業	2
II	図書館資料	2
1	総資料数・年間収集資料数	2
2	図書	2
	(1) 資料数	
	(2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数	
	(3) AV資料・障害者用資料	
3	逐次刊行物	4
III	利用の状況	4
1	開館日数	4
2	入館者数	4
3	登録者数	4
4	個人貸出	4
	(1) 貸出者数	
	(2) 貸出図書数	
	(3) 借受提供	
5	図書館等への貸出(一括貸出を除く。)	5
6	市町村への一括貸出	6
7	調査相談	6
8	マルチメディア利用等	7
	(1) 利用者数	
	(2) 貴重書データベース閲覧ベスト10	
	(3) CD-ROM閲覧ベスト10	
9	複写利用	7
10	館外からのホームページアクセス件数	8
11	書庫出納件数	8

IV	京都府図書館総合目録ネットワーク(K-Libnet)の状況(14年度末現在)	8
V	事業その他	9
1.	連絡協力車の運行	9
	(1) 搬送の内訳	
	(2) 搬送コース	
2.	図書館事業等	10
	(1) 読書週間記念事業	
	(2) パネル展	
	(3) 子ども読書活動の振興	
	(4) 図書館報	
VI	組織及び職員数(14年度末現在)	10
VII	経費	11
VIII	施設の概要等	11
IX	沿革	12

# I 年次概要

## 1 平成14年度の主な動き

京都府総合目録ネットワーク（K-Libnet）は、14年度に8市町村の参加があり、府内44市町村中42市町村が参加することとなった。蔵書データを提供するA参加館も7館増加して26館となり、総データ件数は約320万件となった。府内の公共図書館・読書施設間の相互貸借冊数は25,631冊となり、13年度の19,622冊を大きく上回り、相互協力システムが着実に発展している。

7月には、網野町において「あみの図書館」が開館し、インターネット予約など先進的なサービスが行われている。

10月には、府民が待ち望んでいた国立国会図書館関西館が、関西学術研究都市内の精華町において開館した。開館を記念して9月11日に、同志社大学今出川キャンパスにおいて、午前「関西館と京都の図書館との連携」をテーマに第11回京都図書館大会が、午後「知恵の和を求めて」をテーマに京都府主催の開館歓迎シンポジウムが開催された。府立図書館においても、10月に1階エントランスにおいて関西館のパネル展を実施した。

京都府図書館等連絡協議会の主催により、子どもゆめ基金を活用して、11月から12月にかけて「子ども読書活動指導者研修会」が府内3箇所で、1月に京都市で「子どもと読書を考える京都フォーラム」が開催された。

## 2 資料・利用

### (1) 資料数

平成14年度中の資料収集については、購入図書、寄贈図書等を17,716冊受け入れ、蔵書冊数は789,162冊となった。

なお、図書以外に逐次刊行物が、230,785冊相当あり、総計の蔵書数は1,019,947冊である。

### (2) 貸出

#### ア 個人貸出

個人貸出は、総数で延べ87,576人、214,843冊である。

#### イ 図書館等への貸出

府内の市町村立図書館等への貸出（一括貸出を除く。）は11,384冊、他府県の公立図書館等への貸出は691冊であり、総数12,075冊である。

#### ウ 市町村への一括貸出

府内の図書館未設置町村を支援するための長期貸出や貸出文庫による貸出は、総計で131,886冊である。

### 3 事業

#### (1) 連絡協力車

府内の公共図書館・読書施設間の相互貸借を円滑に行うため、連絡協力車が毎週1回全市町村を巡回し、延べ250回の運行により、26,129冊の図書を運搬した。また、毎月1回、府立図書館職員が連絡協力車に同乗し、運営相談等に応じた。

#### (2) 図書館事業

子ども読書活動の推進に関する法律により定められた子ども読書の日(4月23日)に合わせて、子ども読書絵てがみコンテストを実施し、4月に京都市内において作品展示を行った。

読書週間記念事業として、11月にIT図書館探検隊及び講演会を開催した。

京都府と中華人民共和国陝西省との友好提携20周年を記念して、1月に1階エントランスにおいてパネル展を実施した。

## II 図書館資料

### 1 総資料数・年間収集資料数

図書数789,162冊、逐次刊行物230,785冊(図書換算数)、総資料数1,019,947冊

年間収集資料数 図書・AV資料 17,716冊(点)

逐次刊行物 437タイトル(購入分のみ)

### 2 図書

#### (1) 資料数

(単位：冊)

区分	14年度受入冊数				14年度末 図書数	うち 児童書
	購入	寄贈	その他	計		
館内閲覧・個人貸出用	10,197	4,228	859	15,284	622,499	42,726
市町村支援用	長貸出				100,000	94,949
	貸出文庫	2,432		2,432	66,663	
	計	2,432		2,432	166,663	
合計	12,629	4,228	859	17,716	789,162	137,675

## (2) 館内閲覧・個人貸出用図書の種類別数

(単位：冊，%)

分類	冊数	百分比
0 総記	24,847	4.0
1 哲学	29,403	4.7
2 歴史	56,342	9.1
3 社会科学	119,550	19.2
4 自然科学	33,969	5.5
5 技術	38,764	6.2
6 産業	29,191	4.7
7 芸術	33,774	5.4
8 言語	10,271	1.6
9 文学	118,414	19.0
小計	494,525	79.4
児童書	42,726	6.9
その他	85,248	13.7
合計	622,499	100

## (3) AV資料・障害者用資料

## AV資料

区分	14年度末タイトル数(点数)
CD	447 ( 584)
CD-ROM	569 ( 687)
DVD	460 ( 462)
ビデオテープ	2,929 ( 2,940)
カセットテープ	881 ( 2,704)
マイクロフィルム	118 ( 6,489)
マイクロフィッシュ	3 ( 3,729)
計	5,407 (17,595)

## 障害者用資料

区分	14年度末タイトル数(点数)	摘要
大活字本	1,599 (1,599)	
点字図書	186 ( 960)	
テープ図書	881 (2,704)	「AV資料」の「カセットテープ」の再掲

(注)「大活字本」以外は、(2)「館内閲覧・個人貸出用図書」の「その他」の内数

### 3 逐次刊行物

区 分	新聞	雑誌	計
年間購入タイトル数	13	424	437
既存受入タイトル数	87	7,822	7,909

## III 利用の状況

1 開館日数 268日

2 入館者数 325,878人 (1日平均1,216人)

3 登録者数 10,692人

<累計30,637人(京都市内84.1%、その他地域8.4%、他府県7.5%)>

4 個人貸出 (利用者登録した個人への貸出)

(1) 貸出者数 延べ87,576人 (1日平均327人)

(2) 貸出図書数 214,843冊 (1日平均802冊)

(3) 借受提供 (他の図書館等から資料を借り受けて利用者に提供)

(単位：冊)

借 受 先			借受冊数
府 内	市町村図書館等 (①)	K-Libnetによる借受け	1,441
		FAX版WANTEDによる借受け	61
		計	1,502
府 外	国立国会図書館 (②)		90
	他府県立図書館 (③)		308
	他府県内市町村立図書館等 (④)		33
	計		431
合 計			1,933

(①) 市町村立図書館等の主な内訳

八幡市立八幡市民図書館(162)、亀岡市立図書館(160)、長岡京市立図書館(130)、宇治市中央図書館(128)、京田辺市立中央図書館(120)、井手町立図書館(88)、向日市立図書館(87)、久御山町立図書館(79)、宇治田原町立図書館(64)、舞鶴市立西図書館(56)、綾部市図書館(55)、舞鶴市立東図書館(51)、福知山市立図書館(42)、岩滝町立図書館(41)、

園部町中央図書館(40)、精華町立図書館(27)、日吉町ふるさと文庫(26)、京都学園大学図書館(23)、木津町中央図書館(19)、城陽市立図書館(16)、八木町立郷土資料館図書室(15)、加茂町立図書館(13)、美山町立図書館(13)、山城町立図書館(11)、京都市中央図書館(10)

(2) 国立国会図書館の内訳

東京本館(88)、関西館(1)、国際子ども図書館(1)

(3) 他府県立図書館の主な内訳

大阪(75)、滋賀(70)、神奈川(15)、兵庫(12)、北海道(11)、三重(11)、岐阜(10)、愛知(9)、鳥取(9)、鹿児島(9)、群馬(7)、千葉(7)、岡山(5)、山口(4)、秋田(3)、東京(3)、富山(3)、奈良(3)、和歌山(3)、徳島(3)、大分(3)

(4) 他府県内市町村立図書館等の主な内訳

高槻市(7)、国際武道大学(4)、大阪市(4)、茨木市(3)、横浜市(2)、名古屋市(2)、阪南市(2)

5 図書館等への貸出(一括貸出を除く。)

(単位：冊)

貸出先		貸出冊数	摘要
府内	市町村立図書館等(※)	10,947	44市町村他
	学校図書室	437	府立高校9校他
	計	11,384	
府外	他府県公立図書館・大学	691	
合計		12,075	

(※) 市町村立図書館等の内訳

(単位：冊，%)

地域区分	貸出冊数	百分比
京都市	518	4.7
乙訓地域	866	7.9
山城地域	3,301	30.2
北桑田地域	229	2.1
南丹地域	1,940	17.7
中丹地域	2,164	19.8
与謝地域	884	8.1
丹後地域	1,032	9.4
府立総合資料館	13	0.1
合計	10,947	100



## 6 市町村への一括貸出

(単位：冊)

区 分	貸出冊数	摘 要
長期貸出 (①)	100,000	図書館未設置19町村 (すべて継続貸出)
貸出文庫 (②)	31,886	
合 計	131,886	

### (①) 長期貸出の内訳

(単位：冊)

市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数
大山崎町	6,000	和 束 町	5,000	笠 置 町	5,000	南山城村	5,000
京北町	5,000	八 木 町	6,000	日 吉 町	5,000	丹 波 町	5,000
瑞穂町	5,000	和 知 町	5,000	三 和 町	5,000	夜久野町	5,000
野田川町	6,000	加 悦 町	5,000	伊 根 町	5,000	大 宮 町	6,000
弥 栄 町	5,000	丹 後 町	5,000	久美浜町	6,000		

### (②) 貸出文庫の内訳

(単位：冊)

市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数
宇 治 市	1,745	山 城 町	241	笠 置 町	200	南山城村	3,975
京北町	242	美 山 町	5,221	八 木 町	280	福知山市	505
舞 鶴 市	660	三 和 町	1,983	夜久野町	360	大 江 町	500
岩 滝 町	4,999	伊 根 町	1,500	峰 山 町	2,014	大 宮 町	1,319
網 野 町	6,000	弥 栄 町	142				

## 7 調査相談

(単位：件)

区 分	相談件数	摘 要
所蔵調査	1,641	
調査相談	3,942	うち文書による調査相談は34件
マルチメディア相談	157	マルチメディア閲覧室関係で所蔵調査を含む。
市町村からの調査相談	76	
合 計	5,816	

## 8 マルチメディア利用等

### (1) 利用者数

(単位：人)

利用区分	年間利用者数	1日平均
インターネット端末	20,802	78
CD-ROM端末	4,775	18
AVブース利用	6,216	23
マイクロフィルム	652	3
合計	32,445	

### (2) 貴重書データベース閲覧ベスト10

あつもり(283)、土蜘蛛之草紙(163)、小笠原矢傳書(150)、源氏物語事假字書(144)、花洛細見圖(124)、琵琶湖疏水図誌(114)、伊勢物語(108)、料理献立集(100)、京童(99)、花傳書(97)

(注) ( )内はインターネットを含むアクセス回数で総回数は5,412回

### (3) CD-ROM閲覧ベスト10

#### ア 回数ベスト10

朝日新聞見出しデータベース(1,163)、雑誌記事索引(1,079)、毎日新聞(976)、ハイパー京都ガイド(702)、キネマ旬報シネマデータベース(535)、国の重宝(428)、日経産業・金融・流通新聞(393)、京都-春夏秋冬(361)、空から見た日本(359)

(注) ( )内は利用回数で総回数は17,326回

#### イ 時間ベスト10

キネマ旬報シネマデータベース(385)、ループル美術館(179)、朝日新聞見出しデータベース(176)、国の重宝(171)、毎日新聞(161)、京都新聞(142)、京都-春夏秋冬(133)、日本の交通・運輸をめぐる旅(131)、マルチメディア天体観察(129)、日経産業・金融・流通新聞(114)

(注) ( )内は視聴時間数で総時間数は4,761時間

## 9 複写利用

(単位：枚)

区分	利用枚数	摘要
図書資料	174,092	白黒172,673、カラー1,419
CD-ROM	1,773	
貴重書データベース	3	
マイクロフィルム	4,478	
合計	180,346	

10 館外からのホームページアクセス件数

約14万件

11 書庫出納件数

集密書庫 29,930件 (実冊数は2～3倍)

自動化書庫出納冊数 49,666冊

## Ⅳ 京都府図書館総合目録ネットワーク (K-Libnet) の状況 (14年度末現在)

府内44市町村中42市町村の参加を得て、データ提供館は26館、総データ件数は約320万件となった。

(単位：件)

A参加		B参加
参加館 (データ提供館)	データ件数	参加館 (データ検索館)
京都府立図書館	560,366	城陽市立図書館
京都府立総合資料館	209,729	和束町体験交流センター図書室
向日市立図書館	120,061	笠置町中央公民館図書室
長岡京市立図書館	181,408	南山城村教育委員会図書室
宇治市中央図書館	280,194	京北町文化センター図書室
久御山町立図書館	77,307	丹波町中央公民館図書室
八幡市立八幡市民図書館	227,537	瑞穂町山村開発センター図書室
京田辺市立中央図書館	230,860	和知町ふれあいセンター図書室
井手町図書館	59,597	夜久野町教育委員会図書室
宇治田原町立図書館	54,481	大江町立図書館
木津町中央図書館	103,922	宮津市立図書館
山城町立図書館	59,598	野田川町中央公民館図書室
精華町立図書館	105,500	加悦町中央公民館図書室
加茂町立図書館	56,616	伊根町本庄地区公民館図書室
美山町立図書館	13,657	峰山町立図書館
亀岡市立図書館	167,996	大宮町中央公民館図書室
園部町立園部中央図書館	47,610	あみの図書館
八木町立郷土資料館図書室	18,890	弥栄町中央公民館図書室
日吉町ふるさと文庫	25,265	丹後町中央公民館図書室
綾部市図書館	56,559	久美浜町図書室
福知山市立図書館	62,316	京都ライトハウス点字図書館
舞鶴市立東図書館	81,445	
舞鶴市立西図書館	65,921	
三和町立図書室	12,231	
岩滝町立図書館	30,800	
京都学園大学図書館	289,959	
26館	3,199,825	21館

## V 事業その他

### 1 連絡協力車の運行

府内の各図書館・読書施設との資料の相互貸借、情報交換、技術指導・助言、資料の収集を行うため、次の5コースにより44市町村、46施設へ毎週1回、合計250回の運行を実施した。

#### (1) 搬送の内訳

(単位：冊)

区 分	搬送冊数
府立図書館と市町村との間の搬送	12,449
市町村と市町村との間の搬送	13,182
寄贈図書の搬送	498
合 計	26,129

#### (2) 搬送コース

コース名	順 路
Aコース	京都府立図書館→亀岡市立図書館→八木町立郷土資料館→園部町立園部中央図書館 →日吉町ふるさと文庫→丹波町中央公民館→瑞穂町教育委員会→和知町立ふれあいセンター →美山町立図書館→京北町文化センター→京都ライトハウス点字図書館 →京都府立総合資料館→京都府立図書館
Bコース	京都府立図書館→八幡市立八幡市民図書館→京田辺市立中央図書館→精華町立図書館 →木津町中央図書館→加茂町立図書館→和知町体験交流センター→南山城村教育委員会 →笠置町中央公民館→京都府立図書館
Cコース	京都府立図書館→宇治市中央図書館→宇治田原町立図書館→井手町図書館→山城町立図書館 →城陽市立図書館→久御山町立図書館→大山崎町立中央公民館→長岡京市立図書館 →向日市立図書館→京都市中央図書館→京都府立図書館
Dコース	京都府立図書館→綾部市図書館→舞鶴市立西図書館→大江町立図書館→福知山市立図書館 →三和町図書室→京都府立図書館
Eコース	京都府立図書館→加悦町中央公民館→野田川町中央公民館→宮津市立図書館 →岩滝町立図書館→伊根町本庄地区公民館→丹後町中央公民館→弥栄町公民館 →大宮町中央公民館→峰山町立図書館→あみの図書館→久美浜町図書室 →夜久野町教育文化会館→京都府立図書館

## 2 図書館事業等

### (1) 読書週間記念事業

読書週間を記念して、11月1日に「IT図書館探検隊」を開催し、49名の府民の参加を得た。パソコン画面による蔵書の検索方法や府立図書館ホームページからの各種ホームページへのリンク集を活用した情報アクセスについて説明し、その後、館内案内を行った。

また、11月8日に「老舗出版社の歩みから見る近代京都の出版史」をテーマに講演会を開催し、54名の府民の参加を得た。(株)法蔵館 代表取締役 西村七兵衛氏が、幕末・明治から第二次世界大戦までの法蔵館の歩みと京都の出版状況等について講演した。

### (2) パネル展

1階エントランスホールにおいて、10月3日から31日まで国立国会図書館関西館の開館を記念して、1月15日から31日まで京都府と中華人民共和国陝西省との友好提携20周年を記念して、それぞれパネル展を実施し、多くの利用者の鑑賞を得た。

### (3) 子ども読書活動の振興

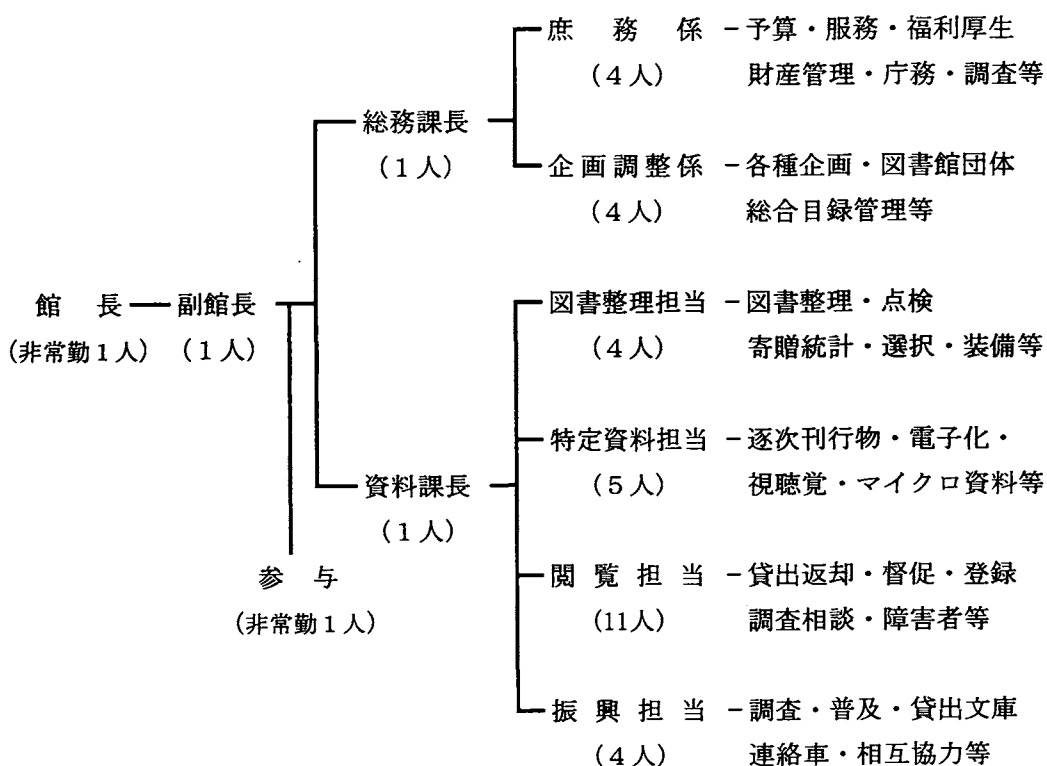
平成13年12月に子どもの読書活動の推進に関する法律が施行され、毎年4月23日が子ども読書の日と定められた。この日に合わせて、京都府図書館等連絡協議会との共催により、子どもの読書活動の振興のため、「子ども読書絵てがみコンテスト」を実施し、4月23日から30日まで京都市の御池ギャラリーにおいて作品を展示するとともに、府内9市町において巡回展示を行った。

### (4) 図書館報

府立図書館の取組を広報するため、5月、9月、1月の3回、広報誌「図書館きょうと」を発行した。

## VI 組織及び職員数（14年度末現在）

常勤職員35人, 非常勤職員10人(館長1人・参与1人・嘱託8人)



## VII 経 費

平成14年度における経費は、次のとおりである。

(単位：千円)

科 目	事 項	金 額	
図書館費	人件費	331,442	
	資料費	図 書	48,584
		逐次刊行物	6,416
		計	55,000
	その他	199,165	
	計	585,607	
事務局費	人件費	1,740	
	その他	35	
	計	1,775	
合 計		587,382	

## VIII 施設の概要等

所在地等	〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地 TEL 075-762-4655 FAX 075-762-4653 ホームページ <a href="http://www.library.pref.kyoto.jp">http://www.library.pref.kyoto.jp</a>	
開 館	平成13年5月11日 (建替による開館、府立図書館設置は明治31年)	
主たる構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	
階 数	地上4階地下2階	
敷地面積	3,740㎡	
延床面積	7,478㎡ 地下2階2,296㎡、地下1階2,049㎡、1階1,129㎡ 2階746㎡、3階701㎡、4階557㎡	
建 築 費	617,415万円 (外構工事・設備・家具等を含む)	
利用者用端末	OPAC13台、CD-ROM閲覧端末14台、外部データベース閲覧端末2台、インターネット閲覧端末10台、貴重書データベース閲覧端末3台、ビデオブース6台、オーディオブース6台	
一般開架	1,710㎡。10万冊の開架が可能	
書 庫	1,776㎡。自動化書庫内の10,509個のコンテナに約40万冊の図書収蔵が可能。閉架書庫内の集密書庫は大半が積層であり、28,284棚に約100万冊の図書収蔵が可能	
開館時間	火曜日～土曜日 午前9時30分～午後7時 日曜日 午前9時30分～午後5時	
休 館 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月曜日 (国民の祝日に関する法律に規定する休日と重なる場合は、その翌日)</li> <li>・毎月第4木曜日</li> <li>・国民の祝日に関する法律に規定する休日</li> <li>・年末年始 (12月28日～翌年1月4日)</li> <li>・特別整理期間</li> </ul>	

## IX 沿 革

- 明治31年(1898) 4月 府立京都図書館御苑内創立  
館長 三宅五郎三郎就任
- 〃 6月 業務開始
- 33年(1900) 夜間開館開始  
館長 原田千之助異動、中道貫一館長就任
- 36年(1903)10月 巡回図書館(貸出文庫)制度開始
- 37年(1904) 3月 湯浅吉郎館長就任
- 38年(1905) 4月 児童室開設
- 39年(1906) 6月 館外貸与規則制定告示  
〃 11月 新館起工式
- 42年(1909) 2月 新館竣工  
〃 3月 京都府立京都図書館規則告示  
〃 4月 新館開館
- 大正5年(1916) 5月 湯浅吉郎館長退職  
〃 10月 北島貞顕館長就任
- 8年(1919) 1月 本館図書分類目録編纂に着手
- 11年(1922) 4月 貸出文庫を増設
- 14年(1925) 3月 児童室閉鎖
- 昭和3年(1928) 3月 帯出規程告示  
〃 4月 個人貸出実施  
〃 6月 和漢図書分類目録 分類表12冊作製
- 8年(1933)10月 京都府中央図書館に指定
- 15年(1940)11月 北島貞顕館長退職 内藤乾吉館長就任
- 16年(1941) 5月 児童室復活開室
- 22年(1947) 7月 内藤乾吉館長退職 西村精一館長就任  
〃 8月 館外貸出廃止
- 23年(1948) 4月 児童室を元貴賓室に移転  
〃 9月 読書ルーム開設(河原町丸善京都店地下)
- 24年(1949) 4月 読書相談開始  
〃 6月 河原町分館開館(河原町丸善京都店地下)
- 25年(1950) 2月 伏見分館開館(伏見信用金庫2階)
- 昭和25年(1950) 3月 巡回図書館(貸出文庫)廃止  
〃 6月 宮津地方分館開館(宮津町役場内)

- 昭和25年(1950) 7月 綾部地方分館(綾部市立図書館内)及び  
峰山地方分館(丹後地方教育局内)開館
- 〃 8月 学生自由閲覧室新設
- 〃 11月 京都府立図書館設置条例公布(条例第62号)
- 26年(1951) 4月 上京分館開館(北区紫郊会館内)
- 〃 9月 本館大閲覧室屋根修理着工 休館
- 〃 10月 本館蔵書一部知恩院倉庫に別置
- 〃 11月 本館大閲覧室安全開架式を実施
- 〃 12月 本館新体制で開館
- 27年(1952) 6月 本館読書相談係設置
- 〃 7月 園部地方分館(園部町立図書館内)  
北桑田地方分館(京北町下中)及び  
木津地方分館(旧役場内)開館
- 28年(1953) 4月 宮津地方分館移転(宮津市立図書館内)  
本館 月曜日休館を実施
- 29年(1954) 2月 伏見分館新築工事着工
- 〃 7月 木津地方分館移転(木津小学校内)  
伏見分館庁舎竣工移転
- 〃 9月 京都府立図書館「善本目録」作製
- 30年(1955) 6月 峰山地方分館移転(丹波公民館内)
- 〃 9月 青年学級文庫実施
- 31年(1956) 5月 上京分館移転(桜谷文庫内)
- 〃 9月 河原町分館閉館
- 32年(1957) 6月 中京分館(河原町分館改称)開館(烏丸庁舎内)
- 〃 10月 宮津地方分館移転(労働セツルメント内)
- 35年(1960)10月 中京分館館外貸出実施
- 37年(1962) 9月 峰山地方分館移転(丹波小学校内)
- 38年(1963) 3月 本館読書相談係・学生自由閲覧室・貸出文庫閉鎖  
蔵書の一部を府立総合資料館へ移管
- 〃 5月 木津地方分館移転(町民センター内)
- 〃 7月 綾部地方分館移転(市民センター内)
- 〃 10月 西村精一館長転出(京都府立総合資料館長へ)  
相馬利雄館長就任
- 〃 11月 本館 日曜・土曜午後・夜間を休館
- 〃 12月 児童室 土・日曜休室



- 昭和39年(1964) 1月 本館外装改修工事
- 〃 5月 本館夜間・土曜午後再開(9時まで) 貸出室設置  
児童室館外貸出実施 土曜日開室  
宮津地方分館移転(宮津市立図書館内)  
伏見分館館外貸出実施
- 〃 7月 市内分館 日曜日休館を実施
- 40年(1965) 1月 中京分館仮移転(京一商同窓会館)
- 〃 7月 児童室に母親文庫設置
- 〃 9月 府教育委員会基本規則一部改正  
教育庁係等設置規程一部改正により図書館に課制実施
- 〃 11月 中京分館移転(京都府中京庁舎内)
- 41年(1966) 9月 綾部地方分館閉館
- 〃 11月 園部地方分館閉館  
自動車文庫命名式(蜷川知事「あゆみ号」と命名) 移動図書館事業開始
- 42年(1967) 7月 本館修繕工事
- 〃 9月 貸出室移転再開
- 44年(1969)12月 本館夜間閉館時間(7時)に変更
- 45年(1970) 8月 相馬利雄館長退職、荒尾利就館長事務取扱就任・転出  
岩崎彰之助館長就任
- 46年(1971) 8月 宮津地方分館新宮津市立図書館内に移転  
本館貸出室の図書を閲覧室に統合 第2閲覧室開室 貸出方式をブラウ  
ン方式に切替
- 47年(1972) 4月 岩崎彰之助館長転出 吉川博明館長就任
- 〃 11月 自動車文庫「あゆみ号」の更新
- 48年(1973) 4月 上京分館館外貸出実施
- 〃 6月 吉川博明館長転出 庄林二三雄館長就任
- 49年(1974) 4月 庄林二三雄館長退職 宮本英男館長就任
- 50年(1975) 3月 木津地方分館閉館  
身体障害者用 便所・スロープ新設  
宮本英男館長退職
- 昭和50年(1975) 4月 布村忠雄館長就任
- 〃 5月 本館(閲覧室・中央カウンター・新聞雑誌室開設) 内装工事  
本館閲覧室を完全開架式に切替
- 51年(1976) 4月 本館閲覧用目録作成に着手
- 〃 5月 上京分館閉館(51.5.8)

- 昭和51年(1976) 6月 京都府図書館等連絡協議会発足、府立図書館に事務局を置く  
 “ 7月 児童室改修工事
- 53年(1978) 3月 本館改修工事(外装・屋根葺替・玄関・防災設備)  
 本館閲覧用目録整備完了
- 54年(1979) 3月 本館書庫の改修工事  
 “ 4月 国会図書館からの図書貸出制度発足  
 本館自習室を閉鎖
- “ 7月 本館・伏見分館の冷暖房工事完了  
 “ 8月 北桑田地方分館仮移転(京北農業協同組合弓削支所内)  
 “ 11月 自動車文庫「あゆみ号」の更新  
 「専門情報機関要覧」刊行
- 55年(1980) 3月 北桑田地方分館閉館(55.3.31)  
 “ 4月 布村忠雄館長転出 長谷川啓司館長就任  
 峰山地方分館移転(峰山町中央公民館内)
- 56年(1981) 4月 長谷川啓司館長転出 浜辺一彦館長就任  
 “ 9月 移動図書館用電動集密書架設置  
 “ 12月 伏見分館改修工事
- 57年(1982) 4月 伏見分館宿日直を廃止し警備会社に委託  
 “ 7月 障害者サービス(対面朗読)実施
- 58年(1983) 2月 生涯教育推進事業として読書推進講座実施  
 “ 3月 「京都府の公共図書館」刊行  
 伏見分館 ブックポスト設置
- “ 6月 図書館協力貸出本格実施  
 “ 7月 新着図書案内発行
- 59年(1984)12月 連絡協力車試験的運行開始(2コース)
- 60年(1985) 7月 国立国会図書館とのオンライン利用実験実施
- 61年(1986) 8月 京都府教育委員会教育長から「生涯学習社会を展望する京都府の図書館  
 のあり方」を京都府社会教育委員会議へ諮問
- 昭和61年(1986)12月 昭和61年度全国公共図書館参考事務研究集会開催  
 12月4日～5日 会場 京都堀川会館
- 62年(1987)10月 国立国会図書館とオンライン実施  
 伏見分館サービス終了(62.10.31) 伏見分館閉館(63.3.31)
- 63年(1988) 3月 「京都府の公共図書館 1987年版」刊行
- 平成元年(1989) 7月 浜辺一彦館長死去、上田将館長就任(本庁指導部長兼任)  
 “ 9月 上田将館長退任、林芳男館長就任

- 平成元年(1989)10月 図書館資料広域貸出事業開始
- 〃 〃 「京都府公共図書館等所蔵 雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会と共同刊行
- 2年(1990)3月 京都華頂ライオネスクラブから公用車(ステーションワゴン)の寄贈
- 〃 〃 「点字・録音図書目録(点字版)」刊行
- 〃 4月 連絡協力車事業本格実施
- 〃 6月 機構改革により本館は4課組織に
- 〃 12月 移動図書館事業終了
- 3年(1991)3月 本館模様替内装工事(受付カウンター・新聞雑誌室・休憩室・ロッカー室・点字コーナー配置換)
- 〃 4月 ロッカーを自主管理方式に
- 〃 6月 マイクロリーダプリンターのサービス開始
- 〃 8月 「連絡協力車だより」発刊
- 4年(1992)4月 林芳男館長退任、柴田實館長就任
- 〃 9月 毎月第2土曜日 児童室 午前9時半から開室開始
- 5年(1993)3月 「京都府の公共図書館 1992年版」刊行
- 6年(1994)3月 「京都府公共図書館等所蔵 雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会、京都府立総合資料館と共同刊行
- 〃 5月 柴田 實 館長退任
- 〃 6月 高木多喜男館長就任
- 7年(1995)2月 阪神・淡路大震災(1月17日)による本館一部被害の補修・補強工事実施
- 〃 5月 本館老朽化による安全対策のため館内模様替え(事務室の1階への移動等)実施。5月1日から2ヵ月間臨時休館(7月3日再開館)
- 〃 8月 連絡協力車北部コース月2回に運行を拡充。これにより府内全ての市町村へ月2回運行となる
- 〃 9月 一般図書室の天井一部損傷による補修工事実施。9月18日から臨時休館(10月16日再開館)
- 〃 12月 京都府社会教育委員会議が、京都府教育委員会教育長に「生涯学習社会を展望する京都府の図書館の在り方について(提言)」を提出する
- 8年(1996)3月 平成8年度当初予算に府立図書館整備費を計上
- 〃 〃 高木多喜男館長退任
- 〃 4月 五十嵐一郎館長就任
- 〃 9月 新府立図書館建設基本計画の概要を発表
- 〃 〃 9月補正予算に文化財的観点から壁面(東側前面)を保存しながら、新

- 築整備するための基本設計費、現存建物記録調査費及び壁面保存の構造診断調査費等を計上
- 平成9年(1997)3月 平成9年度当初予算に実施設計費、補強設計費、補強工事費、情報ネットワークシステム詳細設計費、蔵書データ電算入力費、埋文調査費、解体設計費・解体工事費等を計上
- 〃 〃 宮津・峰山地方分館の閉館(9.3.31)
- 〃 4月 新館整備のため本館を休館(9.4.1～)
- 〃 9月 本館 仮施設(京都市下京区、旧中小企業総合指導所)へ移転完了
- 10年(1998)3月 府立図書館解体工事及び壁面(東側前面)保存工事完了
- 〃 〃 平成10年度当初予算に、新館建設工事費、情報ネットワーク整備費、図書資料整備費、埋文調査費等を計上
- 〃 〃 五十嵐一郎館長退任
- 〃 4月 西山隆史館長就任(本庁指導部長兼任)
- 〃 5月 西山隆史館長退任
- 〃 6月 小山雄一館長就任
- 〃 7月 総合資料館蔵書との一体的データ化作業のため、図書館職員3名を併任発令
- 〃 9月 本館事務室の再移転(旧中小企業総合指導所から隣接の旧女子高等技術専門学校へ)
- 〃 11月 新府立図書館新築工事起工式
- 11年(1999)2月 平成10年度近畿地区公共図書館研修の開催(主催:文部省、京都府教育委員会他)
- 2月15日～2月19日 会場:京都府総合教育センター
- 〃 3月 平成11年度当初予算に新築工事費、情報ネットワーク整備費、図書資料整備費等を計上
- 〃 6月 「日本目録規則1987年版改訂版」「日本十進分類法新訂9版」「日本著者記号表改訂版」を採用
- 12年(2000)3月 平成12年度当初予算に新築工事費、情報ネットワーク整備費、図書資料整備費、備品整備費等を計上
- 〃 5月 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
- 〃 10月 新館竣工
- 〃 11月 仮施設から新館に移転、開館準備作業本格化
- 〃 〃 「京都府図書館総合目録ネットワーク運営規程」を施行(1日)
- 13年(2001)2月 仮施設及び府立総合資料館からの図書資料移転終了
- 〃 3月 中京分館閉館

- 平成13年(2001) 3月 小山雄一館長退任
- 〃 4月 中里隆憲館長就任
- 〃 〃 府教育委員会基本規則を一部改正して図書館の職を整備し、教育庁係等設置規程を一部改正して2課制(総務課:2係、資料課:4担当)を施行(1日)
- 〃 〃 「京都府立図書館の管理運営に関する規則」(平成13年京都府教育委員会規則第1号)を施行(1日)
- 〃 5月 「京都府立図書館個人貸出規程」、「京都府立図書館対面朗読等規程」、「京都府立図書館複写取扱規程」、「京都府立図書館貴重書データベース利用等規程」、「京都府立図書館外部有料データベース利用等規程」、「京都府立図書館機関貸出規程」、「京都府立図書館貸出文庫規程」、「京都府立図書館利用規程」及び「京都府立図書館連絡協力車事業規程」を施行(7日)
- 〃 〃 開館式(10日)、一般開館(11日)
- 〃 〃 京都府図書館総合目録ネットワークのインターネット発信開始(10日)
- 〃 〃 連絡協力車の毎週運行を開始(16日)
- 〃 6月 京都府図書館総合目録ネットワーク運用開始(1日)
- 14年(2002) 4月 「子ども読書絵てがみコンテスト」を実施
- 15年(2003) 2月 館内完全分煙の実施

事業概要 (平成14年度のまとめ)

平成15年(2003)8月発行

発行者 京都府立図書館

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9

TEL (075)762-4655(代)

FAX (075)762-4653

URL <http://www.library.pref.kyoto.jp>

印刷 株式会社 大気堂

TEL (075)361-2321

この冊子は再生紙を使用しています。